

風呂セントラル木材(有)食品部 丸繁三明物産

木材加工業者が福井の焼きさば文化発信に一役。若狭町日笠の「風呂セントラル木材」は、自社開発した「味付焼鯖」の真空パックシリーズで、新たな味を売り出す。食欲不振に陥りがちな盛夏を前に、「うめ」「ゆず」「こんぶ」「とりがら」、「チリ」と「骨なし」など五種類を用意。「カレー」など販売済みの五種類と合わせ、計十種類の多様な味で焼きさばをアピールしていく。

同社は業界の不振に加え、建築基準の偽装

うめ、ゆず、こんぶ、とりがら、チリ



新たに5つの味が加わった「味付焼鯖」の真空パックシリーズ
リーズ=福井市西木田2丁目の福井商工會議所ビルで

焼きさば新たなる味力

問題による受注減を機に異業種展開を考えた。二〇〇八年十一月に、風呂繁明社長(六七)『焼きさば』をやって、同社食品部として

若狭町 木材加工業者が発売

味わえる」(同社)。賞味期限は要冷蔵で、さらに踏み込んで、六十日。十種類一セットが、送料込み二千八百二十五円。問い合わせ立てる味付けを検討。調味料の配合を工夫し、一年に「みそマヨネーズ」「しょせん」からも購入可能。五種類を生み出した。

(北原愛)

「丸繁三明物産」を立ち上げて研究を始めた。

その結果を踏まえて、炭火焼きに最も近い遠赤外線焼き機を導入。ノルウェー産の脂の乗ったサバの切り身をじっくり焼き上げ、真空パックにしてうま味や風味を閉じ込め、も取ってあり、安心した。「沸騰した湯に入れて、いろんな味を楽しんで」とアピールする。

これらに加え今回、「うめ」「ゆず」「こんぶ」「とりがらスープ」のさっぱり系と、ピリッと辛い「チリソース」の五種類を新たに開発した。味を多様化させ、調理を手軽にしたのは魚離れ対策。風呂社長は「小骨

のまま、骨なしでも、お好みのお弁当やお惣菜の具にも、焼さば」と、焼きさばのうま味を引き立てる味付けを検討。調味料の配合を工夫し、一年に「みそマヨネーズ」「しょせん」からも購入可能。五種類を生み出した。